

神奈川大学三浦半島宮陵会だより

第26号

発行者: 神奈川大学三浦半島宮陵会

企画・広報委員会

2018年9月8日発行

事務局: 横須賀市浦賀丘2-8-19

Tel: 046-843-0600

平成30年度夏の集い(総会)開催

総会には60人が参加

平成30年度神奈川大学三浦半島宮陵会「夏の集い(総会)」が6月24日、京急横須賀中央駅前のセントラルホテルで開かれ、会員ら61人が参加した。

会は大倉国光副会長の司会で進行し、総会では冒頭に鈴木和夫会長が挨拶(別掲)、規程により砂川正夫副会長が議長を務め、平成29年度事業報告(案)・収支決算報告(案)・監査報告、平成30年度事業計画(案)・収支予算(案)、会則の一部改正(案)、役員改選(案)など提案された議案は全て承認された。(承認された収支決算・予算・役員名簿は別掲)

総会後には内田青蔵・神奈川大学工学部教授の記念講演会が開かれた。その後は、他地区からも駆けつけて下さった同窓生や学生も参加した懇親会も開かれ、来賓としてご出席していただいた、旭馨・神奈川大学教育支援センター事務部長、春原正三郎・神奈川大学宮陵会副会長のお二人には冒頭でご挨拶を頂戴した。



左・下: 総会の様子



2018. 6. 24 セントラルホテルにて

ご挨拶

～鈴木和夫会長～



皆様本日は、三浦半島宮陵会の集いにお越し頂き誠にありがとうございます。

私も70歳・古希になりました。

先月、自動車学校で高齢者講習会を受けてきました。動態視力、判断力運転の実施等、2時間。75歳後期高齢者となると認知症が加わり3時間です。アクセルとブレーキの踏み違い、高速での逆走など注意したいものです。

6月16日の神奈川新聞・論説特報欄に神大山岳部の落合正治監督(69歳)「山岳遭難防くには」の記事がありましたので紹介します。

世界7大陸の最高峰を極めた落合さん。山の魅力と共にその恐ろしさも十二分に知る。「自然の中では誰も助けてくれない。それはエベレストでも北アルプスでも丹沢でも一緒」とあり、九死に一生を得てきたベテランクライマーは暁鐘をならす。

2009年5月18日、神大山岳部登山隊は世界最高峰(標高8848m)のエベレスト登頂に成功した。隊員11人のうち3人が山頂に立ちKu旗を立てた。

落合さんは「9年掛かってやっとここまで動かせるようになった」と指が凍傷で10本とも失われた手を大きく広げて見せた。私も大学での講演会で手を拝見したが、その時は「ここまで、やるかな」と思いました。

「古希を控えてもなお、再びエベレストに登る日を夢見る」と紙面は結ばれていました。すばらしい事です。

この後は記念講演会、懇親会と続きますが、どうぞお楽しみください。

【記念講演会】

総会後に開かれた記念講演会は、内田青蔵神奈川大学工学部建築科教授による「未来に向けた神大キャンパスの動き」。

創立者・米田吉盛先生は1898

(明治31)年に愛媛県内子町に生まれた。1928(昭和3)



年に横浜学院を開設。1924（昭和4）年には横浜専門学校を設立し建学の精神（質実剛健・積極進取・中正堅実）を制定。1933（昭和8）年には給費生制度を創立。1945（昭和20）年の空襲や占領軍の接収で六角橋から大倉山精神文化研究所などに移転し、校舎を借りての授業。1949（昭和24）年には神奈川大学に昇格し、米田吉盛先生が初代学長に就任。1984（昭和59）年には付属中・高が開設。1989（平成1）年には平塚キャンパスを開設。2000（平成12）年の横浜キャンパスの再開発（23号館竣工）など、創設時（1920年代）、神大への昇格（1945年代）、付属中・高、湘南キャンパスの開設（1980年代）、大学院などの拡充（1990年代）、大学の国際化（2010年代）と創立から今日までの発展の歴史を、それぞれの時代の特徴に分けてわかりやすく解説して下さった。近未来としてはキャンパスの穏やかな集合化と機能強化は図れるが、新しい教育をどう見えるものに表現できるかが今後の課題だとも指摘。

生涯にわたり関わりの持てる大学へ

キャンパスの基本方針は、学生の自主的成長を支援する、地域社会に開かれ、さまざまな人との交流を生み出す、地球環境に配慮し、人と環境、自然との調和をめざすことなどだ。そのためには、学生の自主学習の場を多く設け、講義終了後も校内にとどまり学生が自主学習できる場を多く作る。2021年に開学する「みなとみらいキャンパス」は、街と大学をつなぐキャンパスモデルであり、人が集い知が交流する新たな学びの拠点となる。

少子高齢化を迎えたこれからの社会にあって本学も新しい姿への変貌が求められる。その選択肢は2つある。①一つは規模の縮小化②もう一つは国際化めざし学生の枠を広げる。本学のめざすところは②で、留学生や大学院生、社会人にまで門戸を広げ、18歳から22歳の青春だけの関わりのある大学でなく生涯にわたり関わりが持てる大学となることだ。そのためには、卒業生の大きな協力が必要となってくる。（原 柳作）



平成30・31年度役員

会長	鈴木 和夫	S46 年法律卒	
副会長	小池 邦夫	S38 年機械工卒	葉山地区担当
同	*村田 龍也	S39 年経済卒	横須賀地区担当
同	長谷川征勝	S40 年貿易卒	横須賀地区担当
同	中川 六郎	S44 年経済卒	葉山地区担当
同	*矢澤 基一	S44 年経済卒	鎌倉地区担当
同/会計	*武井 利徳	S45 年経済卒	
同	*嶋田 晃	S47 年経済卒	横須賀地区担当
同	内藤 正久	S51 年機械工卒	企画担当
事務局長	原 柳作	S46 年英文卒	
幹事	嶋田 順子	S47 年短商卒	横須賀地区担当
同	塩塚 定雄	S48 年貿易卒	広報担当
同	*江尻二十三	S48 年経済卒	横須賀地区担当
同	田原 清彦	S49 年貿易卒	逗子地区担当
同	西脇 幸二	S53 年貿易卒	横須賀地区担当
同	石渡 大輔	S56 年法律卒	三浦地区担当
会計監査	*砂川 正夫	S44 年経済卒	
同	堀越 昌樹	S62 年法律卒	
顧問	古川 勝彦	S40 年経済卒	
参与	*大倉 国光	S38 年法律卒	
同	*若林 秀明	S39 年経済卒	
同	*鈴木 稔	S44 年経済卒	

*は新任および役割変更

参与若干名を創設する会則の一部改定を決定した。

平成29年度収支決算報告(H29.4.1~H30.3.31)

科目	予算額	決算額	増 減	備 考
収入				
会費	105,000	323,000	218,000	
助成金	40,000	75,873	35,873	宮陵会
雑収入	30,000	54,923	24,923	祝金他
合計	175,000	453,796	278,796	
支出				
会議費	10,000	9,470	-530	会場費
通信費	200,000	152,894	-47,106	
印刷消耗品	80,000	19,902	-60,098	
雑費	110,000	79,780	-30,240	謝礼等
合計	400,000	262,026	-137,974	
収支差額	-225,000	191,770	416,770	
前年繰越金	1,299,275	1,299,275		
次年繰越金	1,074,275	1,491,045		

平成 30 年度収支予算 (H30. 4. 1~H31. 3. 31)

科目	予算額	29 決算額	増 減	備 考
収入				
会費	150,000	323,000	-173,000	
助成金	40,000	75,873	-35,873	宮陵会
雑収入	30,000	54,923	-24,923	祝金他
合計	220,000	453,796	-233,796	
支出				
会議費	10,000	9,470	530	会場費
通信費	200,000	152,894	47,106	
印刷消耗品	50,000	19,902	30,098	
雑費	100,000	79,780	20,240	謝礼等
合計	360,000	262,026	97,974	
収支差額	-140,000	191,770	-331,770	
前年繰越金	1,491,045	1,299,275	191,770	
次年繰越金	1,351,045	1,491,045	-140,000	

平成 30 年度事業計画

- 親睦を深めながら母校の発展に寄与し、会員増強への基盤づくりを図る
 - ホームカミングデーへの参加
 - 宮陵会神奈川ブロック会議への参加
 - 箱根駅伝の沿道での応援
 - 硬式野球部など現役クラブの応援
 - 大学祭、文化講演会、吹奏楽部定期演奏会等への参加を促す
- 三浦半島宮陵会の集い(総会)および新年会の開催
- 広報活動の継続と地域同好会への支援
 - 三浦半島宮陵会だよりの年 2 回の発行
 - 三浦半島宮陵会ホームページからの発信
 - ゴルフ、テニス、釣り同好会、歩こう会などを通じた会員相互の親睦
- 現役学生や若い卒業生との交流を積極的に図り連携を深める
- 役員会(4・9・12・3 月の第二土曜日)を開催

【懇親会】

来賓の神奈川大学教育支援センター事務部長の旭馨さん(昭和 62 経済卒)と宮陵会本部副会長の春原正三郎さん(昭和 47 法律卒)の二人の挨拶は、大学や宮陵会の現状をより理解するのに役だった。(要旨は別掲載)

参加者最年配の小田進一さん(昭和 32 年短電卒、86 歳)の元気な乾杯の音頭には、感激した参加者が目立ち大いに元気づけられたようだ。他地区からも桑昭さん(昭和 41

工経卒)、指旗博さん(昭和 62 応化卒)、古家秀紀さん(昭和 38 年貿易卒、町田市)らも参加してくださり、また、1 年生から 3 年生までの若い学生 4 人の参加もあり、大正琴・花みずきの会女性メンバーによる明るくにこやかな演奏により懇親会は大いに盛り上がり、終了時間を 10 分もオーバーした。

▽春原正三郎副会長の挨拶



来賓の春原さんは「6 月 8 日に宮陵会創立 80 周年記念式典を横浜キャンパスで行った。280 人に参加いただいた。宮陵会館は来年 3 月に竣工し、4 月にオープンします。来年 3 月の卒業生で卒業生数は 25 万人に手が届きそうだ。

しかし、残念ながらこのうち住所の判明している人は、11 万です。2028 年に大学創立 100 周年を迎えます。それに合わせて宮陵会としても記念募金活動をはじめます。その募集要項を、8 月発行の会報 108 号に掲載します。皆さまのご協力をお願いします」と述べた。

また、「海外や全国の宮陵会組織は 135 あり、そのうち 110 個所で総会が実施できています。どこも女性会員が少なく残念です」「今年の神奈川県ブロック会議は 11 月 3 日(祝)の神大フェスタ開催中に行います。昨年は 70 人が参加しました。ぜひ今年は、皆さんにもご参加していただき賑わいのあるブロック会議にしていきたい」と述べ、参加を呼びかけた。

▽旭馨事務部長の挨拶

本日、「三浦半島宮陵会夏の集い兼総会」が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。日頃より母校に対しまして温かいご支援ご協力を賜り、この席をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

本学は、ご存知のように 1928 年に横浜学院として建学し、横浜専門学校時代を経て、1949 年に学制改革によって「神奈川大学」を設置しています。横浜・湘南ひらつか・中山の 3 キャンパスに 7 学部 20 学科、大学院 9 研究科、10 研究所、附属中・



高等学校を持つ総合学園として発展し、今年創立90周年を迎えております。

100周年記念募金にご協力を

また、2021年4月には、横浜・みなとみらい地区に新たなキャンパスである「みなとみらいキャンパス」の開設を予定しております。日本の文化と歴史に深い理解をもって国際交流を進める、グローバルな人材を養成する新設学部「国際日本学部」（設置構想中）と外国語学部、国際経営学部（経営学部から名称変更構想中）の国際系3学部が集約され、5,000人の学生に教養豊かな国際人としての教育を行う予定です。また横浜キャンパスは、外国語学部が移転した後、2023年に理学部が移転し、理工再編をにらんだ魅力的な学園として発展します。

2028年の創立100周年に向け、「100年の計」とも言うべき「みなとみらいキャンパス」の建設、新学部開設に伴い、新たに「キャンパス新総合計画」を策定して更なる学園の発展を目指します。この度、創立100周年記念募金運動を始めることになりました。詳細が決まり次第、ご協力を賜ることになりますので、皆様よろしくお願い申し上げます。

活躍する陸上、野球、女子サッカー

さて、次に学生の課外の活動状況についてご紹介します。

まずは、陸上競技部の駅伝です。昨年度は、12年ぶりに三大駅伝に出場することができました。出雲駅伝では、総合6位、全日本駅伝では、主将の鈴木健吾君の活躍もあり、優勝することができました。これは、20年ぶりの快挙になります。正月の箱根駅伝では、前評判もあり、校友の皆様とともに優勝を期待していましたが、総合13位に終わっています。次に硬式野球部です。神奈川大学野球春季リーグ戦で優勝し、明治神宮球場で行われた「全日本大学野球選手権」に2年ぶりに出場することができました。結果は、第1回戦で東日本国際大学と対戦し、0-1で惜敗しています。最後は、女子サッカー部です。1月に開催された全日本大学女子サッカー選手権大会にて宿敵早稲田大学と決勝戦を戦いましたが、0-1で惜しくも準優勝となっています。以上のとおり、学生諸君も神奈川大学を代表して活躍していることは大変喜ばしいことでございます。

さて、本「三浦半島宮陵会の夏の集い」に、私は昨年度も出席させていただきました。昨年度の法学部佐橋亮先生によるトランプ政権、今年度は工学部の内田青蔵先生による神大キャンパスに関する記念講演会などアカデミックなプログラムに加え、OB・OGの諸先輩方、教職員とそのOB諸氏、さらに学生も交えて集う同窓会は、他の同窓組織の模範となる会であると感じております。



写真：上から2枚目は大正琴を演奏する「はなみすき」の皆様

三浦半島宮陵会同好会通信

最近の活動を紹介します

●ゴルフ会世話人:中川六郎(昭和44年経済卒)

メールアドレス: nakaroku@jcom.home.ne.jp



連絡先: 090-9003-2499
オープンコンペは、卒業生に関わらず、どなたでも参加できます。ゴルフ初心者、初参加の方も歓迎します。ご友人、ご家族、お誘い合わせの上、気軽に参加してください。

第35回オープンコンペは2018年3月23日(金)、葉山国際カンツリー倶楽部エメラルドコースで4組16名が参加して行われました。

結果は、初参加から8年、12回目の出場の村田義郎さんが初優勝、準優勝は松井一郎さん、3位は塚田尚さんが受賞しました。ニアピン賞は田原清彦さん・武井利徳さん、ドラゴン賞は萩原力さん・佐藤美佐男さん、ペグロス賞は塚田さんが獲得しました。(佐藤 武)



葉山国際カンツリー倶楽部に於いて 2018.3.23

第36回オープンゴルフコンペは、2018年7月27日(金)、葉山国際カンツリー倶楽部エメラルドコースで開催されました。連日の猛暑と台風12号が間近にせまる天候で開催が心配でしたが、奇跡的にも穏やかな風が吹く良いコンディションに恵まれ、4組14名が参加して熱戦が繰り広げられました。

結果は、わたくし松井一郎が念願の初優勝を飾り、準優勝は、佐藤美佐男さん、3位は古敷谷功さんが受賞した。ニアピン賞は、斉藤勁さん・塚田尚さん・鈴木和夫さん、バスグロ賞も松井が獲得しました。



神奈川大学三浦半島宮陵会「夏の集い(兼総会)」懇親会



私は「100を切ることを目標にしてきましたが、ゴルフの神様が後押ししてくれたのか？まさかの出来事で私もびっくりしています。また、良きパートナーに恵まれたことにも大感謝です。ゴルフを通じての宮陵会親睦コンペ最高です！次回も宜しくご指導お願いします。」と挨拶をさせていただきました。

今回は、11月21日（水）鹿野山ゴルフ倶楽部を予定しています。（松井 一郎）



小池邦夫さんの作品（切り絵）



葉山国際カンツリー倶楽部に於いて 2018.7.27



町営仙石原テニスコートに於いて 2018.8.11

●テニス会世話人:小池邦夫(昭和38年機械卒)

メールアドレス: kichiemu@mbj.nifty.com



連絡先: 090-8811-5079
今年の合宿も宿泊は神奈川大学の箱根保養所、コートは箱根町の町営で、8月9日から3日間を計画しました。

直前にやってきた、台風13号の動静を最後まで見極め、幸い予定通り実施できました。

昨年同様に大倉国光さんがコートサイドで観戦されて、昨年培った勘所を毎日披瀝され、我々にとっても大いに参考になり、更なる向上心が湧きました。

第二日の夜はゴルフ組と合流し、若き日の夜の横浜徘徊の思い出話に加え、今回はゴルフ道具以外は丸腰の吹奏楽部OB会長、田原清彦さんのスキヤットが飛び出すなど楽しい一夜を過ごしました。

最終日には藤沢宮陵会の指旗博さんが参加され、コーチ役として丁寧なテニスを披露され、会員一同ミスを減らしてポイントを稼ぐ試合の大切さを痛感しました。

最近は合同練習ができない現状ですが、何とか克服したいと考えています。



神奈川県箱根保養所に於いて 2018.8.11

●歩こう会世話人:若林秀明(昭和39年経済卒)

メールアドレス: w-hideaki@mvd.biglobe.ne.jp

連絡先: 090-3220-1479

只今休会中です。皆さんが参加できる企画がありましたら、お寄せください。

↓城ヶ島公園より相模湾を望む

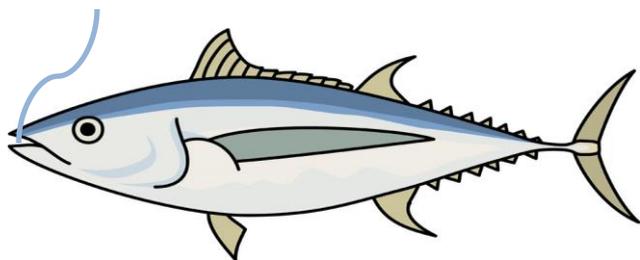


●つり会世話人:塩塚定雄（昭和48年貿易卒）

メールアドレスs.shiozuka@aria.ocn.ne.jp

連絡先：090-5581-1043

神大教職員釣り部とコラボで企画を思案中です。企画が出来上がりましたら案内しますので、是非ご参加ください。



会員の皆様から ～特集3～

小さな「神大会」の仲間たち

江尻二十三（昭和48年経済卒）

今から49年前の在学中に会を結成。昭和46年から50年度に本学を卒業したものと士で、現在まで続いている。われわれの仲間では「神大会」という名前で呼んでいる。

ここでは会則や会の開催決まりごとはない。多い時で年2回、少ないときで2、3年に1回の割合で飲み会、カラオケのみで集まっている。

会の始まりは、昭和44年に2部入学した私と職場の同僚（県警事務職）4人、それに入学してから、たまたま高校が一緒だったことや幼馴染みだったことわかった3人（自営業、卒業後に建設会社、電算会社）も加わり、当初は麻雀や競馬仲間として集まったのがきっかけだった。その後、職場の後輩も加わり現在に至っている。2部の者、1部の者、学部も住まい（東京、横浜、横須賀、秦野など）もバラバラのこの小さなグループは、なぜか学生時代から「神大」という名前だけでつながっている。

一応、会員の現況名簿だけは更新しており、幹事は抽選で選出し、会員は男11人で当初から増やしていない。卒業した仲間は転職した者（私も県庁へ）が多くさまざまだが、20代、30代の若いころは保養所などで1泊の旅行が多かった。歳を重ね、家族持ちになるにつれホテルなどのルームを貸し切って楽しむようになっている。

最近、ほとんど毎年のように逢っているが、近況報告ではやはり健康問題が多くなっている。家族、孫、第2・第3の職場の話題で盛り上がり、そのときは学生に戻った気分になる。

このように、私のなかでは神大というと、この小さなグループ神大会しか頭になかった。が、本宮陵会に入会し講演会や会員の皆さまを通じ新たな視野も広がった。小さな仲間たちとの親睦を大切にしながらも、本会にも引き続き参加して行きたい。

半島宮陵会に入会したきっかけは、定年後、横須賀市の青少年育成推進員で知り合った半島宮陵会の幹事・西脇幸二さんに誘われたから。また、横須賀市のシルバー人材センターでお世話になっている参与・大倉国光さんから、このたび幹事を仰せつかり、微力ですが会の目的のためにお手伝いさせていただきたいと思っています。よろしく願います。



グループ神大会の仲間と（前列右が筆者）

大学・企業・地域活動と私

小田進一（昭和32年短電卒）

私は1932（昭和7）年4月に横浜に生まれ、横須賀市豊島小学校、三浦中学校、高等学校を卒業し、京浜急行電鉄に入社。47年間勤務しました。



最初の勤務地は京急久里浜駅。次は電車の車掌、運転手となり、ここで神奈川大学とのご縁ができた。会社に奨学勤務制があり、昼間勤務し夜間に学校に行けるということで電気を学ぼうと考え、神大の大先輩の片桐典徳氏（元京浜急行電鉄会長、元京急宮陵会会長）の出身大学に決め、短期大学部II部電気科に入学した。電車の運転士を13年間やり、次は京急グループの京急観光広告部（現・京急アドエンタープライズ）に異動、広告業務販売担当として京急グループの各社巡りのガン保険（現・京急保険サービス）の販売担当をした。

趣味は、社交ダンス、柔道、カラオケです。定年後は、地域貢献をしようと町内会の青少年部長と地区長をやり、凧あげ大会、ラジオ体操、町内のお祭り行事、市民運動会などに参加し、活動させていただきました。

また、鎌倉市教育委員会の委嘱を受け鎌倉市生涯学習推進委員会広報部会（学習ボランティア）に参加し、月刊生涯学習情報誌（鎌倉萌）の編集と配達を現在も続けています。

来2019年の秋には開業120周年を迎える京急本社が品川から横浜みなとみらい地区に移転します。その近くに2028年に創立100周年を迎える神奈川大学が、みなとみらいキャンパスを2021年に開学します。これも良いご縁だと嬉しく思っております。

三浦半島宮陵会には内藤正久氏（副会長、元京急宮陵会）からお誘いがあり、即入会しました。また、矢澤基一氏（副会長、鎌倉市自治町内会総連合会長）は、私の隣町の町内会長さんで知り合いの仲です。

神奈川大学との繋がりが大変嬉しく、誇りに思います。今後ともよろしくお祈りします。



京急電車(フリーイラストより)

本会HP(ホームページ)の紹介

アドレス <http://miurahanto.blog.shinobi.jp>



神奈川大学三浦半島宮陵会のHPのアドレスは上記のようになっていますが『神奈川大学三浦半島宮陵会』でも検索できます。

本会の開催行事などは、写真とともにホームページにアップするようにしています。

写真を印刷するには、まず本会HPのMENUの、「ご報告」から入っていただき、見たい項目をクリックすると見ることができます。掲載されている写真をクリックして、ご自分のパソコンのピクチャフォルダに保存したものを、写真用紙に印刷するようにしてください。

MENUには、投稿していただいた話題などを掲載する「我らの仲間」などもあります。また、ご連絡等頂く「ご連絡：メール」もあります。

今後とも魅力のあるHPとしていきますので、ご覧になってご活用ください。投稿等もお願いします。

～編集後記～

会報26号をお届けいたします。本号は、過日開催されました、平成30年度神奈川大学三浦半島宮陵会・夏の集い(総会)の報告となっています。また、前月号に引き続き、2人の会員の方からは、「学生時代の思い出・今頑張っていること」など、自由に書いて頂きました。

お忙しい中、寄稿していただきました皆様、有難うございました。

さて、我が三浦半島宮陵会は鎌倉・逗子・葉山・横須賀・三浦の4市1町の会員で構成され、自然に恵まれた良いところだと思っておりますが、市や町のシンボルとしての花や木をご存知ですか？

鎌倉市の花はリンドウ。秋になるとひっそりと紫の花をつけ、乾いた草地に生える多年生。市の木は山桜です。

逗子市の花はホトトギス。花は10月頃咲き、湿気のある崖に、白地に濃紫色の斑点がある6弁の花びらを付けて咲く多年草。徳富蘆花公園から郷土資料館に上る道の途中で見る事ができるそうです。市の木は椿です。

葉山町の花はツツジ。市の木は三浦半島のいたるところで自生している常緑樹の黒松です。

横須賀市の花は浜木綿（はまゆう）。ヒガンバナ科の多年草で、色は白く、コウソなどの繊維から作った布と似ていると言われます。水はけが良く日当たりの良い場所を好むので、温暖な海浜で見ることができます。市の木はオオシマ桜です。

三浦市の花は横須賀と同じく浜木綿。市の木は黒松です。

異常気象のせい、集中豪雨等、各地で災害が発生しています。美しい自然を守るために、今我々がしなくてはいけないことが、身近にあるように思います。取り返しがつかなくなる前に、自然や他人と共に生きていることを考えたい。(塩塚)



浜木綿の花



ほととぎすの花